

# 濃尾地震

災害の概要：

発生日時：1891年10月28日06:38

規模：マグニチュード8.0

発生場所：岐阜県根尾谷～愛知県犬山北方

地震の種類：濃尾断層帯で長さ80km一度に動いた活断層の浅い巨大地震

死者数：7,273人

全壊家屋：142,177軒

山崩れ：10,224箇所

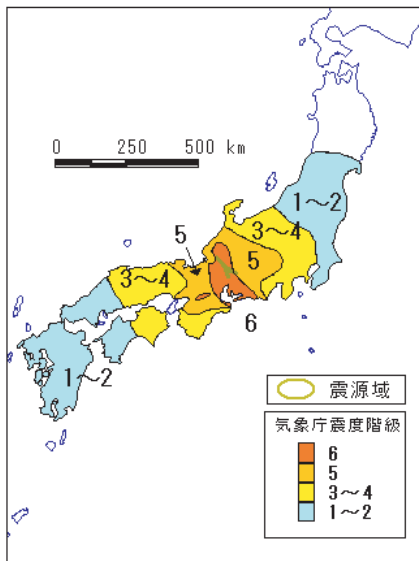


図1. 濃尾地震の震度分布

濃尾地震は、岐阜県の根尾谷をはじめ岐阜、大垣から犬山や名古屋の北西部まで広い範囲に甚大な被害をもたらした、日本の陸で発生した最大の被害地震です。震源域である根尾谷ではほぼ100%の家屋が倒壊したほか、木曽川下流地帯は地盤が悪いので、紡績工場や郵便局など当時としては大きい建物が瞬時に崩れたといわれています。幸い夜明けから始動する明治時代においては、多くの人が起床後の時刻に発生したので、家屋の倒壊数の割には圧死者が少ないといえます。

図2. 木曽川流域一帯の住家倒壊率分布



写真1. 水鳥付近の根尾谷断層の断層崖

根尾谷の水鳥付近では、地表で上下方向に6m、水平方向に4mずれた活断層が出現し、現在でも一部が保存されて観察できるようになっている。写真中央の道路が、地震でずれている。